



キク編

病害虫注意報 2023年11月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

白さび病に注意しましょう！

閉めきったハウス内は湿度が高くなり、白さび病発生の原因となります。
環境制御に加えて、定期的な薬剤での防除も実施してください。



症状

多発条件

- ▶ 葉に白い隆起した斑点が発生
- ▶ 多湿条件（湿度90%以上）
- ▶ 梅雨時期と秋頃の涼やかな気候（15～20℃）

対策

- ▶ ハウス内の温度・湿度ムラを減らす。
- ▶ 排水性を良好にする。
- ▶ 発病株は伝染源になるため、抜き取り、焼却する。または、土中深くに埋める。

今月のおすすめローテーション

⚠ 地域の防除事例を基に作成しています（輪菊栽培）。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合があります。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

時期	RAC	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数・使用量	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病	inochioキクツチャ粒剤	6～9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	ジマンダイセンフロアブル	500～800倍	—	8回
	23	アザミワ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	11	白さび病	inochioオペラフラワー乳剤	2,000倍	発病初期	3回
	2A	ハダニ類	ペンタック水和剤※	1,000倍	—	—
発蕾時	I:21A F:39	白さび病・アザミワ類 アブラムシ類・ハモグリバエ類	ハチハチ乳剤	1,000倍	発生初期	4回
	6	アザミワ類・ハダニ類	アグリメック※	500倍	発生初期	5回
破蕾時	3	白さび病・うどんこ病	アンビルフロアブル	1,000倍	発病初期	7回
	25A	ハダニ類	スターマイトフロアブル	2,000倍	発生初期	1回

※花き類・観葉植物登録

対象病害虫によって使用の希釈倍数が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

海藻サンバ

育苗期・生育期:1,000倍

イノチオのバイオスティミュラント！
光合成・発根の促進におすすめ

- ▶ コリンによる**光合成促進**と**発根促進**
- ▶ 海藻エキスによる**発根促進**
- ▶ 転流を促進



肥料登録番号
生第101491号

葉焼け軽減に！

プロテックa

500～1,000倍 葉面散布

～特徴～

- ・散布にてカルシウムを内側から供給！
- ・天然ワックスで表皮を保護強化し
植物体内の水分の過剰蒸散を防ぐ！

カルシウム、パラフィン配合
植物表皮を保護強化

